



はっとり 服部のりふみ

謹賀
新年

議員活動報告

vol.9
2023.1.10 発行

みなさんと一緒に、希望のもてる地域づくりを進めます！



後援会事務所（自宅）

〒509-7401 恵那市岩村町飯羽間 3126 番地

TEL/FAX 0573-43-3835

HP <http://ccm.enat.jp> E-mail norifumi@ccm.enat.jp

日々の活動は、フェイスブックをご覧ください！

<https://www.facebook.com/hattori.norifumi/>

新年、明けましておめでとうございます。コロナ禍は4年目に突入し、経済をまわしながらのウイズコロナの段階からアフターコロナを見据える時期に突入したといわれる状況となりました。そうした中で昨年は、全国山城サミットや嚶鳴（おうめい）フォーラム、世界ラリー選手権（WRC）などのビックイベントが予定どおり開催され、多くの方に恵那市に訪れていただくことができました。本年も昨年に続き、世界ラリー選手権などのビックイベントが計画されていますので、コロナの完全な終息を祈りながら皆さんとともに希望のもてる地域づくりに引き続き邁進して参りたいと考えていますので、よろしくお願い申し上げます。

第4回議会定例会の内容

11月21日	議会全員協議会	議案等の説明がありました。
28日	議会本会議（議案人事、議案上程） 総務文教委員会 市民福祉委員会	正副議長や各委員会の選挙、選任が行われました。執行部からは4件の人事案件と6件の議案が上程され、人事案件は全て同意されその他議案は常任委員会へ付託されました。 6件が承認されました。（所管部分承認1件） 1件が承認されました。（所管部分承認1件）
29日	議会本会議（採決、議案追加上程）	常任委員会に付託されていた6件が委員長報告のもと、一件ごとに審議され、本会議において全て可決されました。また、執行部から19件の議案が追加上程され、所管の常任委員会へ付託されました。
12月8日	総務文教委員会 市民福祉委員会	7件が承認されました。（所管部分承認1件） 10件が承認されました。（所管部分承認1件）
9日	経済建設委員会	4件が承認されました。（所管部分承認1件）
20日	議会本会議（一般質問）	伊藤勝彦、山内敏敬、服部紀史、猿渡南江、秋山佳寛、町野道明、平林多津子の7名が登壇
21日	議会本会議（一般質問、議案追加上程）、各委員会	安藤直実、佐々木透、林貴光の3名が登壇 執行部から一般会計の補正予算1件の追加議案の上程があり、補正予算は委員会付託され直ちに委員会が開催されました。
26日	議会本会議（採決）	常任委員会に付託されていた20件が委員長報告のもと、一件ごとに審議され、本会議において全て可決されました。また、議会から上程された3件も全て可決されました。

議決内容（主なもの）

11月28日議決分

人事案件（4件）

- ・公平委員会、固定資産評価審査委員、教育委員、監査委員の選任同意

11月29日議決分

条例の一部改正（4件）

- ・人事院勧告に伴う特別職や職員等の関係条例の改正

その他の議案（1件）

- ・消防通信指令台を東濃地域で統合するための協議会の設置

補正予算（1件）

- ・令和4年度一般会計補正予算（第6号）

補正額は、5,600万円で、主な内容は、原油価格・物価高騰に関して子育て世帯に負担軽減のため給付金を支給するもの

12月26日議決分

条例の制定（3件）

- ・個人情報保護法の改正に伴う関係条例の制定や職員の定年延長制度の導入に伴う関係条例の制定

条例の一部改正（5件）

- ・職員の定年延長に伴う給与に関する関係条例の改正
- ・老人保健施設ひまわりの入所定員を99人に増床する改正
- ・貸付金返済債務免除に介護人材育成修学資金を加える改正
- ・消防団員の定員の削減と報酬を増額し処遇改善を図る改正

その他の議案（3件）

- ・2施設の指定管理者の指定や職員の自動車事故による和解

補正予算（9件）

- ・一般会計ほか、国保、介護保険、後期高齢の特別会計や、水道、下水道、病院、国保診療所の企業会計による補正予算
- ・一般会計の補正額は、第7号と第8号の補正を合わせ20億3千887万円となり、主な内容は、コロナ対応や原油価格・物価高騰対策、緊急を要する修繕費用など

議会上程（3件）

- ・個人情報保護法の改正に伴い、対象外となる議会の個人情報保護条例の制定や閉会中の継続審査の申し出

※いずれの議案も賛成しました。詳細は、後日議会事務局から発行される「議会だより」をご覧ください。

その他の議員活動（主なもの）

10月1, 2日	岩村秋祭り神事	10月25日	議会全員協議会、議会だより編集会議	11月23日	自民党岐阜県連政経文化パーティー
5日	旧振興事務所活用検討委員会（東海市視察）	26～28日	市民福祉委員会行政視察	26日	岩村町交流協会（西尾市薪能）
6, 7日	リニア中央新幹線特別委員会行政視察	31～2日	経済建設委員会行政視察	30日	一般質問順抽選
8日	岩村小学校運動会	11月4日	議会全員協議会、瑞浪市議会との情報交換会	12月4日	ウイメンズラリー
11日	第2回全国山城サミット岩村地区実行委員会	8日	岩村地域自治区運営協議会役員会	12日	市民総ぐるみ街頭指導
14日	岩村地域自治区運営協議会役員会	9日	議会だより編集会議	13日	議会運営委員会、議会全員協議会
26日	議会全員協議会、議会だより編集会議	13日	世界ラリー選手権（WRC）	16日	岩村地域自治区運営協議会役員会
22, 23日	全国山城サミット恵那大会	19日	子ども嚶鳴フォーラム	17日	阿木川ダム環境美化作業

議会人事

議会の役職は、特別委員会を除き、申し合せや条例による規定により、一年任期とされています。12月議会は、この一年任期の改選期にあたるため、議会初日に改選等が行われました。私の関係する部分を紹介しますが、詳しくは後日発行される「議会だより」をご覧ください。

- 常任委員会 市民福祉委員会副委員長 ⇒ 市民福祉委員会委員長
- 特別委員会 広報広聴特別委員会委員長 ⇒ 広報広聴特別委員会副委員長
- その他 新たに議会運営委員

一般質問(概要)

一般質問とは、議員が市の仕事全般について、現状やこれからの考えについての質問や政策提言を行うことができるもので、定例会だけで行われています。今回の一般質問は、私の政策テーマであります「希望のもてる地域づくり」から「人口減少を受け入れた地域づくり」の中で特に重要と考える「住宅政策」について一般質問を行いましたので、以下にその主な質問内容と、執行部からの答弁を抜粋して紹介します。

希望のもてる地域づくり～人口減少を受け入れた地域づくり～

(質問の背景)

昨年3月議会の一般質問で取り上げた表題の内容について、時間切れで質問しきれなかった人口減少に伴う住宅政策についてあらためて考えを伺うものです。質問の内容は、本年3月に改訂された恵那市都市計画マスタープランに沿って今後の恵那市の将来像について考え方を明らかにするものです。

特に今後、周辺地域の過疎化が急激に進むことが予想される中で、今回とりあげた都市計画マスタープランは、恵那市の将来像を示したいへん重要なものであると考えています。しかし、市民への周知が十分ではなく認知度が低いと感じ一般質問で取り上げることとしたものですので、皆さんも関心をもってご覧いただければと思います。

質問 計画策定の目的や位置づけ、目標年次は？

回答 恵那市都市計画マスタープランは、都市計画法第18条の2に規定されている「市町村の都市計画に関する基本的な方針」を定めたものであり、恵那市の都市計画をはじめとした都市づくりに関する基本的な方向性を示すものです。恵那市において都市計画区域は、旧恵那市地域の大井町、長島町、東野、三郷町、武並町、笠置町、中野方町、飯地町であるが、都市計画区域外の恵南地域についてもマスタープランを一つの指針とすることとしています。また、令和12年(2030)を目標年次として、都市づくりに関する基本的な方向性を示していますが、恵那市総合計画の改訂や社会経済情勢の変化などに対応して適宜見直しを行うこととしています。

質問 恵那市が目指す将来都市像の概要は？

回答 計画では、将来人口予測を総合計画から令和7年に46,000人としながら、今後、人口の減少に加えて世帯数も減少していく予想の中で、基本的には都市や市街地の規模を拡大する必要性は小さい状況にあるとの認識が示され、また、本格的な高齢化の進展、財政制約の高まり、地球環境問題の深刻化などに適切に対応した都市構造の形成を図る必要があるとしています。こうした観点から、恵那市総合計画に掲げられた土地利用構想の実現に向けて、「拠点」「軸」「ゾーン」が設定され、都市機能が集積した各地域の拠点が公共交通などによって連携した「拠点ネットワーク型都市構造」の形成を目指しています。

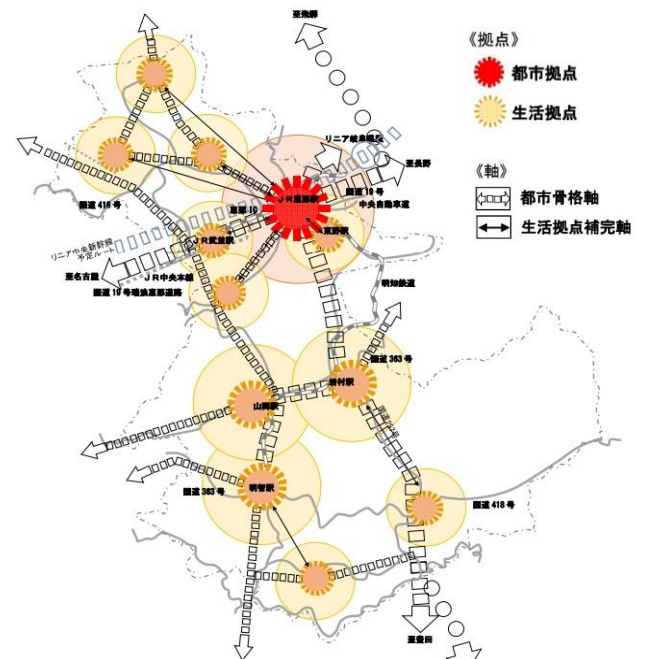


拠点ネットワーク型構造図の模式図

質問 将来都市像を実現するための戦略は？

回答 将来都市像として規定している将来都市構造図を実現するための都市づくり戦略については、「地域の個性を活かした拠点形成とネットワークの充実」、「水と緑の保全・活用による美しい景観と環境の確保」、「防災性の向上とバリアフリー化の推進による安全・安心環境の創造」の3つの観点から推進することとしています。

その中で特に重要な「地域の個性を活かした拠点形成とネットワークの充実」は、「都市拠点」や「生活拠点」の整備や拠点間を結ぶ公共交通などによる交通ネットワーク、いわゆる「軸」の充実に努めるほか、鉄道、バスといった公共交通機関の利便性の向上のみならず道路網も再検討を行うとともに、地域におけるコミュニティバスの検討など拠点内での移動手段についても検討していきます。



恵那市の将来都市構造図

質問 マスタープランの推進体制の強化策は？

回答 恵那市都市計画マスタープランは、今後とも恵那市が個性的で魅力的な都市であり続けるために、望ましい将来像と都市整備の目標を明確にし、事業者や市民の皆様とそれを共有し、協力し合いながらまちづくりを推進することが必要であります。そのため、上位計画である総合計画や関連個別計画において、各地域・拠点における計画相互の共有や整合を図り、より効率かつ効果的な計画実現を目指し、また、ネットワークは市全体を捕らえ効率的で有効な交通手段、道路網の構築が必要であります。

そして各計画においては、それぞれ委員会や協議会を設け進行管理や計画の見直しなどが行われていますが、これらの計画を総合的に進行管理する体制は出来ていないので、今後は関係各課や関係団体との意識の共有を図り、庁内の横断的な連携をとりながら事業を推進していきたい。

ちょっと気になる動き！

一年前にも記事にした内容ですが、恵南中学校再編と旧岩村振興事務所（岩村休憩所）の活用について、その後の状況についてお知らせします。

始めに中学校再編についてですが、この関係はマスコミにも注目され新聞でも報じられていますのでご存知の方も多いと思いますが、教育環境等検討委員会が昨年3回ほど開催され、統合は1校とし既存の山岡校舎を活用し、スクールバスの通学を基本に令和8年度の開校とするといった基本的な事項がまとめられ昨年の年末に答申されました。今後は、準備委員会が組織され細部に渡る検討が進められますが、これまでの検討過程等、詳しくは市のWEBサイトに議事録等が公開されていますのでご覧ください。

もう一つの、旧岩村振興事務所（岩村休憩所）の活用については、昨年、中核となる佐藤一斎先生の顕彰施設のイメージを固めるため、他市の顕彰施設を検討委員会等で幾つか視察し施設のイメージが纏められました。この一斎先生の顕彰施設を中心とした施設全体の活用について、今年に入り新たに委員会が組織され検討が進められます。

議会を終えて

本議会では、原油価格・物価高騰に伴う救済的な支援が国の交付金を活用し多岐に渡り補正予算で措置されました。一刻も早く執行され苦しんでみえる方の救済ができればと思うところであります。

さて、新年を迎え昨年末には議会構成も一新され、私も市民福祉委員長に就任いたしましたので、市政発展のため微力ではありますが精一杯与えられた職責を果たしていきたいと考えていますので、皆さんの一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

次号は、3月議会終了後に発行する予定です。皆さんのご意見やご感想をお聞かせください！